

ファブのDX化講習を開催

業務での活用法を学ぶ

広島県鉄構工業会・青年部会

広島県鉄構工業会の青年部会（部会長＝光村圭介・ミツヤ工業常務）は21日、広島市西区の第3ウエノヤビルで「FabにおけるDX化入門」講習会を開催。

「DX化は避けられない道。時代の流れに沿って情報をアップデートすることが必

要だ。講習が業務効率化のきっかけになることを願う」とあいさつした。

講習は2部構成で最初にSAKURA SOLUTIONの長尾大祐社長と山中裕貴最高執行役員が鉄構業界のDX推進について説明。その中で①クラウド上のスケジュール管理やFAX対応、書類・図面管理などペーパーレス化②ビ

ジネスチャットツールや業務用アプリの活用法について学んだ。光村部会長は「DX化は避けられない道。時代の流れに沿って情報をアップデートすることが必

要だ。講習が業務効率化のきっかけになることを願う」とあいさつした。

講習は2部構成で最初にSAKURA SOLUTIONの長尾大祐社長と山中裕貴最高執行役員が鉄構業界のDX推進について説明。その中で①クラウド上のスケジュール管理やFAX対応、書類・図面管理などペーパーレス化②ビ

ジネスチャットツールや業務用アプリの活用法について学んだ。光村部会長は「DX化は避けられない道。時代の流れに沿って情報をアップデートすることが必

要だ。講習が業務効率化のきっかけになることを願う」とあいさつした。

講習は2部構成で最初にSAKURA SOLUTIONの長尾大祐社長と山中裕貴最高執行役員が鉄構業界のDX推進について説明。その中で①クラウド上のスケジュール管理やFAX対応、書類・図面管理などペーパーレス化②ビ

ジネスチャットツールや業務用アプリの活用法について学んだ。光村部会長は「DX化は避けられない道。時代の流れに沿って情報をアップデートすることが必

要だ。講習が業務効率化のきっかけになることを願う」とあいさつした。

ネスチャット「LINE WORKS」を活用した業務連絡やタスク管理、ファイル共有化③複数システム連携による情報一元化などの業務効率化——の3段階に分けて活用法を紹介した。

続いて、リコージヤパン広島支社の赤木万理チーフが業務アプリ「キンストン」について説明。複数の表計算ファイル管理や業務プロセス共有化、コミュニ

ケーションツールなどの機能を紹介。その上で、導入前の業務設計（導入後の業務方法の明確化）の重要性を指摘した。

ケース

ケース

ケース

ケース

ケース

ケース

ケース

ケース

ケース



DX化アプリなどについて学んだ